

2. 市政情報の入手方法と効果的な発信について

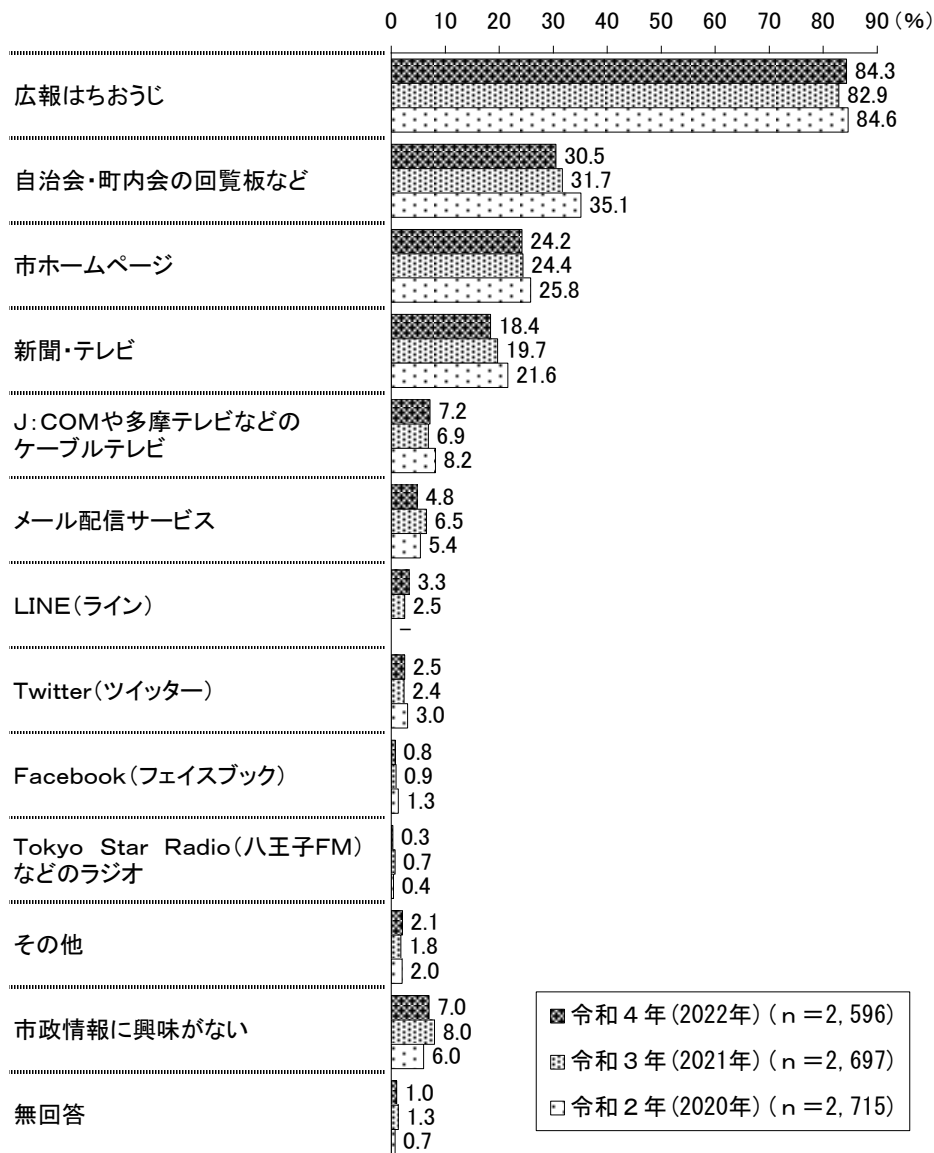
(1) 市政情報の入手方法

◇「広報はちおうじ」が8割台半ば

問9 あなたは、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか。

(○はいくつでも)

図2-1-1 市政情報の入手方法—全体、経年比較



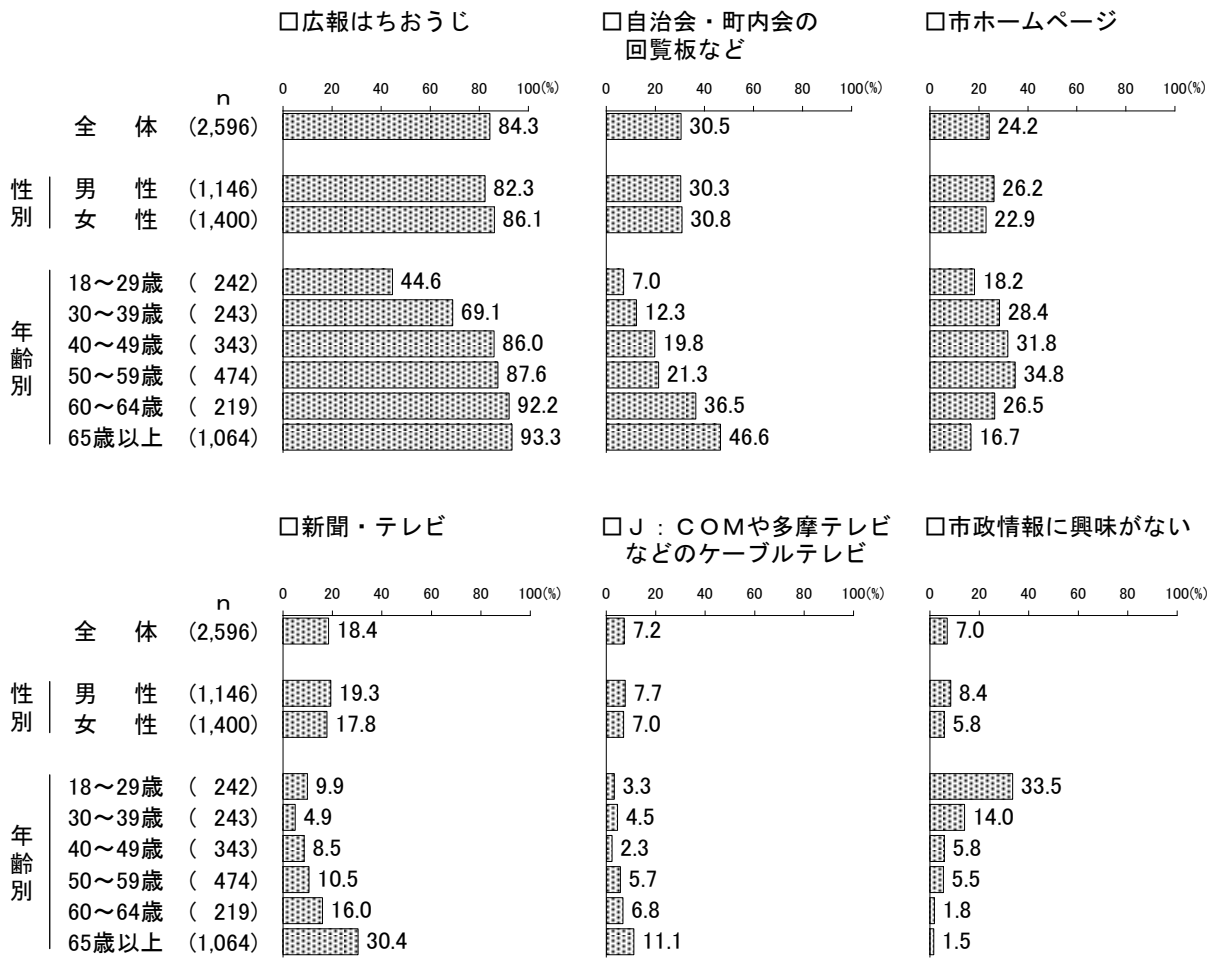
(注)「LINE(ライン)」は、令和3年(2021年)から追加された選択肢。

市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ているか聞いたところ、「広報はちおうじ」(84.3%)が8割台半ばで最も多くなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板など」(30.5%)、「市ホームページ」(24.2%)、「新聞・テレビ」(18.4%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、令和3年(2021年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-1-1)

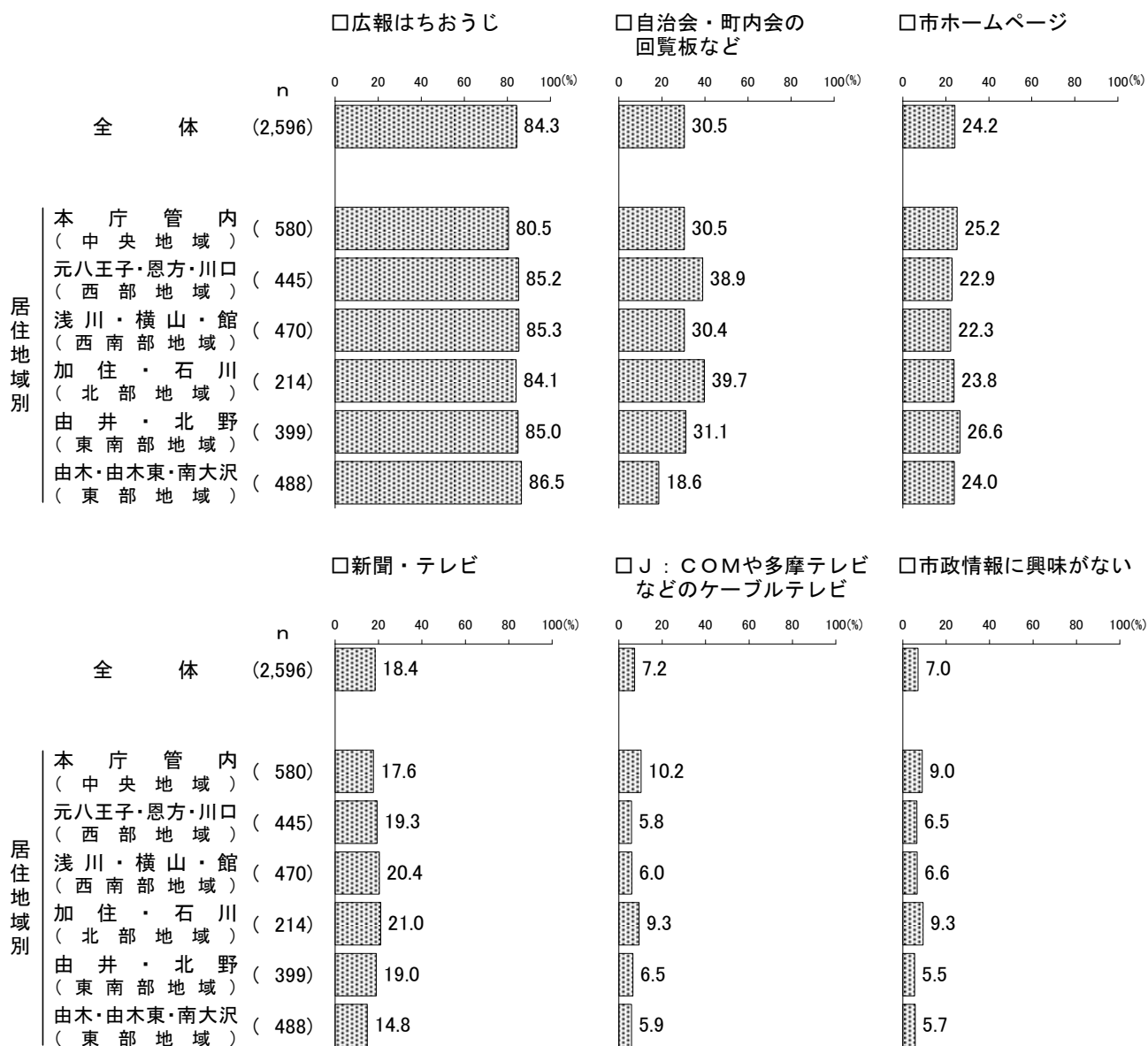
図2-1-2 市政情報の入手方法—性別、年齢別（上位5位+「市政情報に興味がない」）



性別にみると、「広報はちおうじ」は女性（86.1%）が男性（82.3%）より3.8ポイント高くなっている。一方、「市ホームページ」は男性（26.2%）が女性（22.9%）より3.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、60~64歳（92.2%）と65歳以上（93.3%）で9割強と多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（46.6%）で5割近くと多くなっている。「市ホームページ」は50~59歳（34.8%）で3割台半ばと多くなっている。（図2-1-2）

図2-1-3 市政情報の入手方法—居住地域別（上位5位+「市政情報に興味がない」）



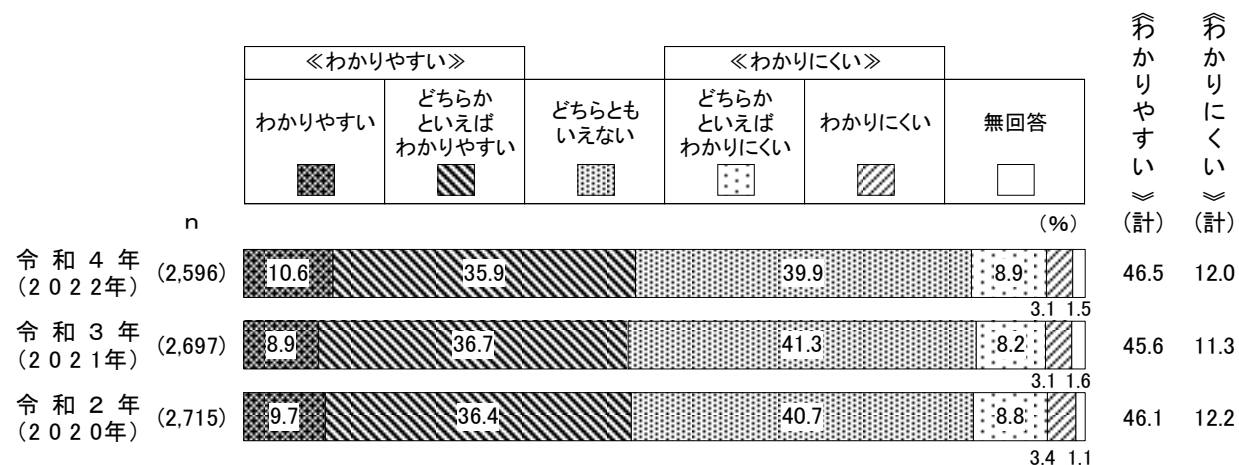
居住地域別にみると、「広報はちおうじ」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（86.5%）で9割近くと多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」は加住・石川（北部地域）（39.7%）で4割弱と多くなっている。（図2-1-3）

(2) 市政情報のわかりやすさ

◇《わかりやすい》が5割近く

問10 あなたは、市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思いますか。(○は1つだけ)

図2-2-1 市政情報のわかりやすさー全体、経年比較

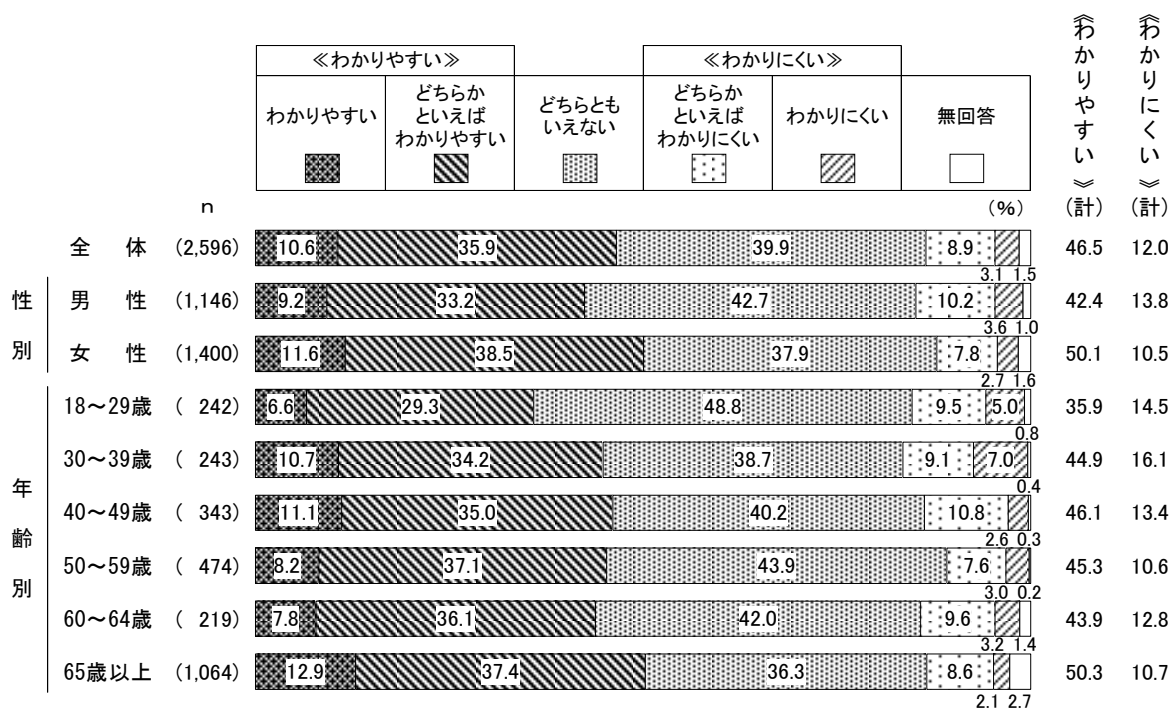


市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思うか聞いたところ、「わかりやすい」(10.6%)と「どちらかといえばわかりやすい」(35.9%)を合わせた《わかりやすい》(46.5%)は5割近くとなっている。一方、「どちらかといえばわかりにくい」(8.9%)と「わかりにくい」(3.1%)を合わせた《わかりにくい》(12.0%)は1割強となっている。また、「どちらともいえない」(39.9%)は4割弱となっている。

前回までの調査と比較すると、令和3年(2021年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-2-1)

図 2-2-2 市政情報のわかりやすさ—性別、年齢別

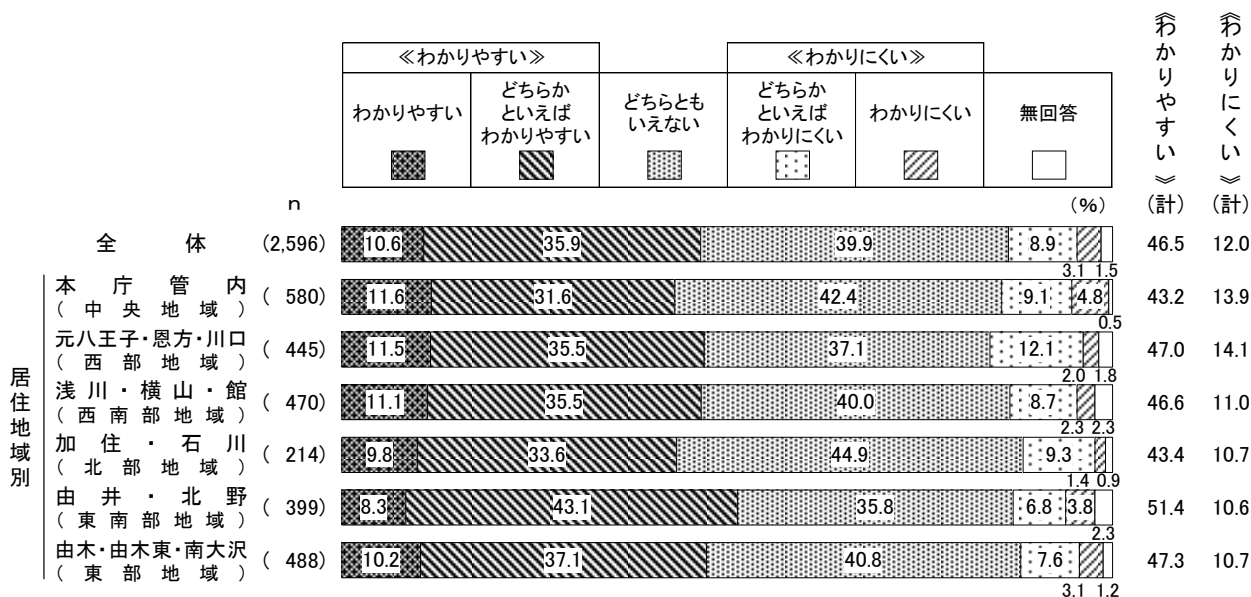


性別にみると、《わかりやすい》は女性（50.1%）が男性（42.4%）より7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《わかりやすい》は65歳以上（50.3%）で約5割と多くなっている。

(図 2-2-2)

図 2-2-3 市政情報のわかりやすさ—居住地域別



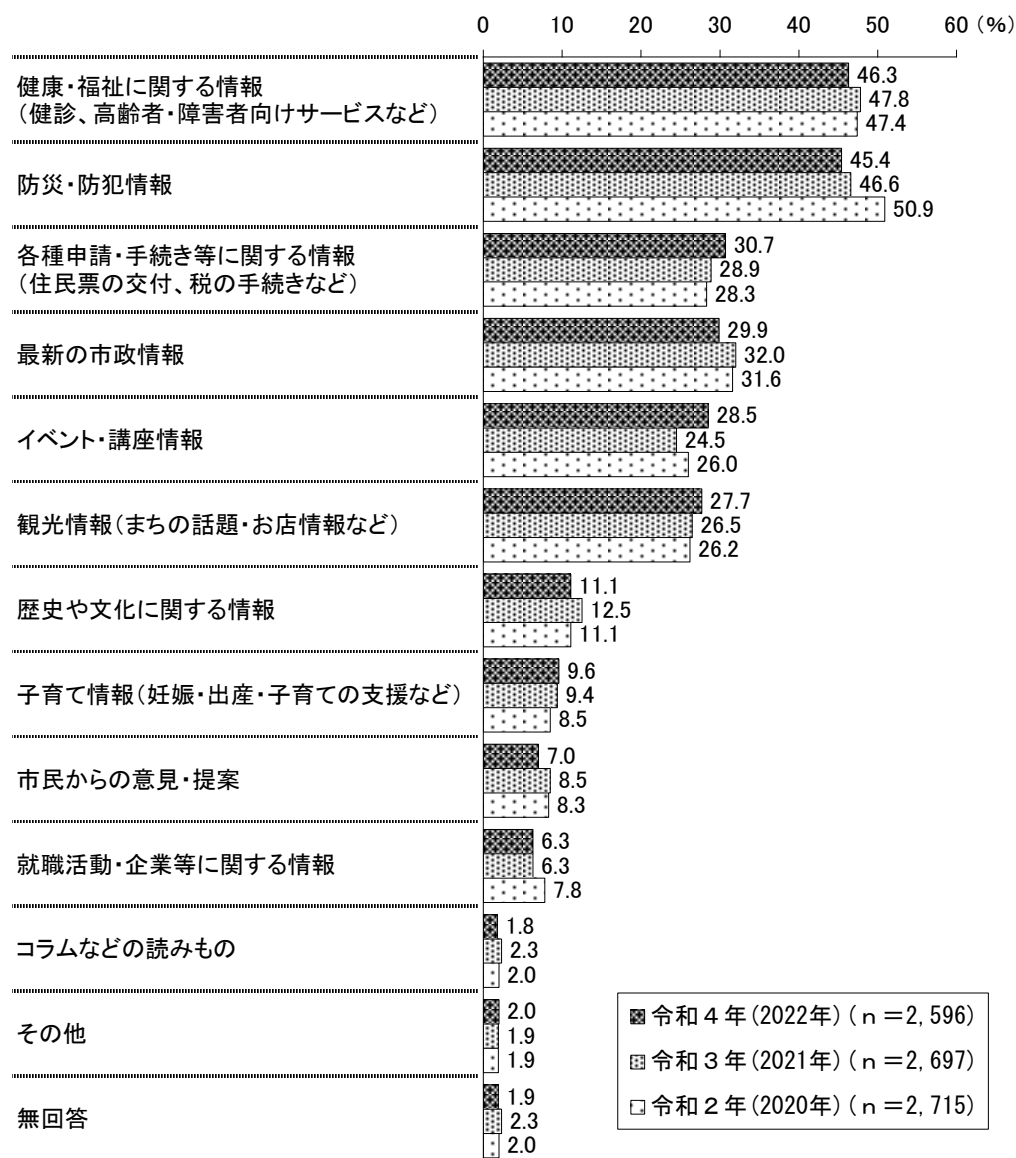
居住地域別にみると、《わかりやすい》は由井・北野（東南部地域）（51.4%）で5割強と多くなっている。(図 2-2-3)

(3) 関心のある情報や発信してほしい情報

◇「健康・福祉に関する情報」が5割近く

問11 あなたが関心のある情報、または発信してほしい情報を教えてください。(〇は3つまで)

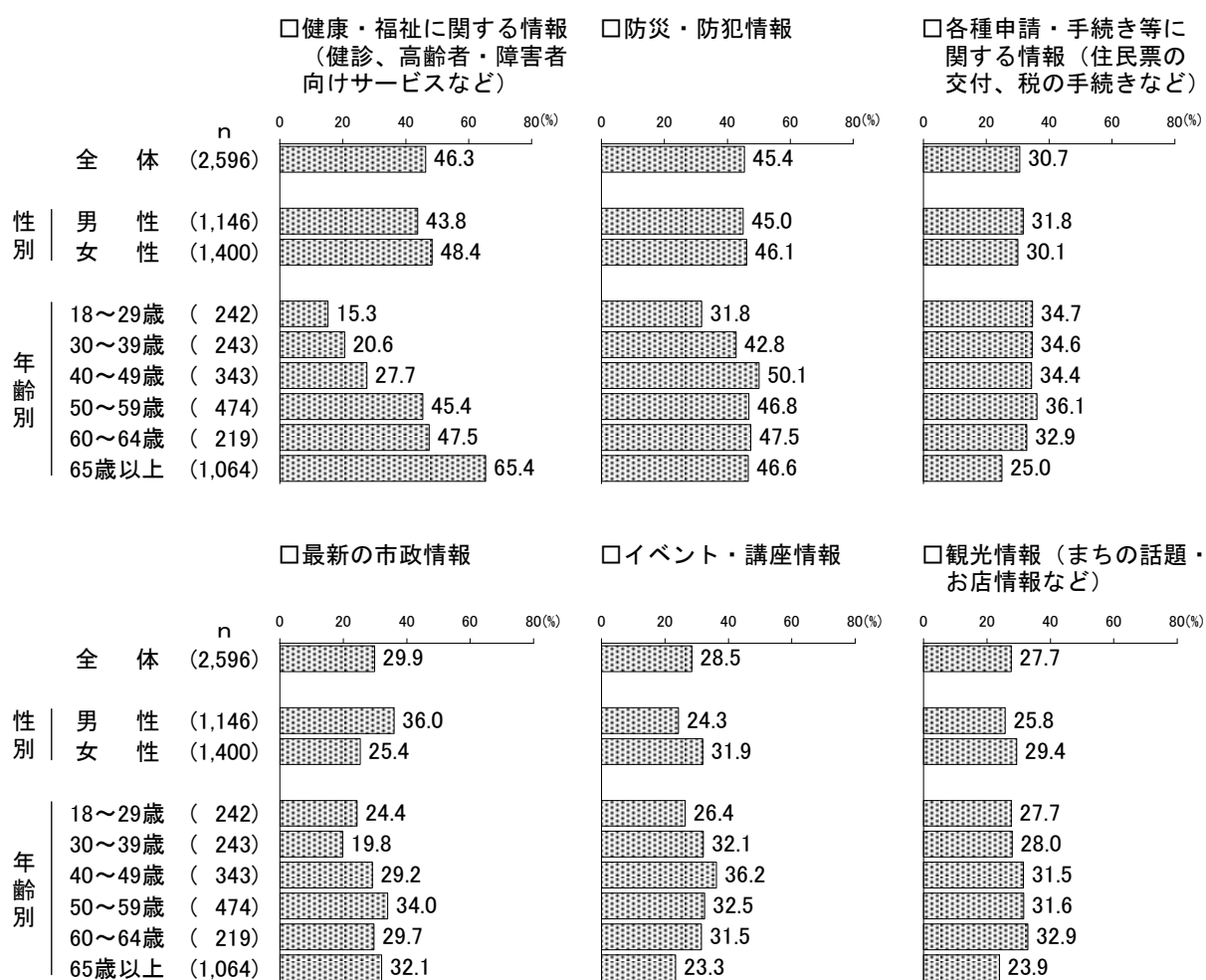
図2-3-1 関心のある情報や発信してほしい情報—全体、経年比較



関心のある情報、または発信してほしい情報を聞いたところ、「健康・福祉に関する情報(健診、高齢者・障害者向けサービスなど)」(46.3%)が5割近くで最も多くなっている。次いで「防災・防犯情報」(45.4%)、「各種申請・手続き等に関する情報(住民票の交付、税の手続きなど)」(30.7%)、「最新の市政情報」(29.9%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「イベント・講座情報」は令和3年(2021年)(24.5%)より4.0ポイント増加している。一方、「最新の市政情報」は令和3年(2021年)(32.0%)より2.1ポイント減少している。(図2-3-1)

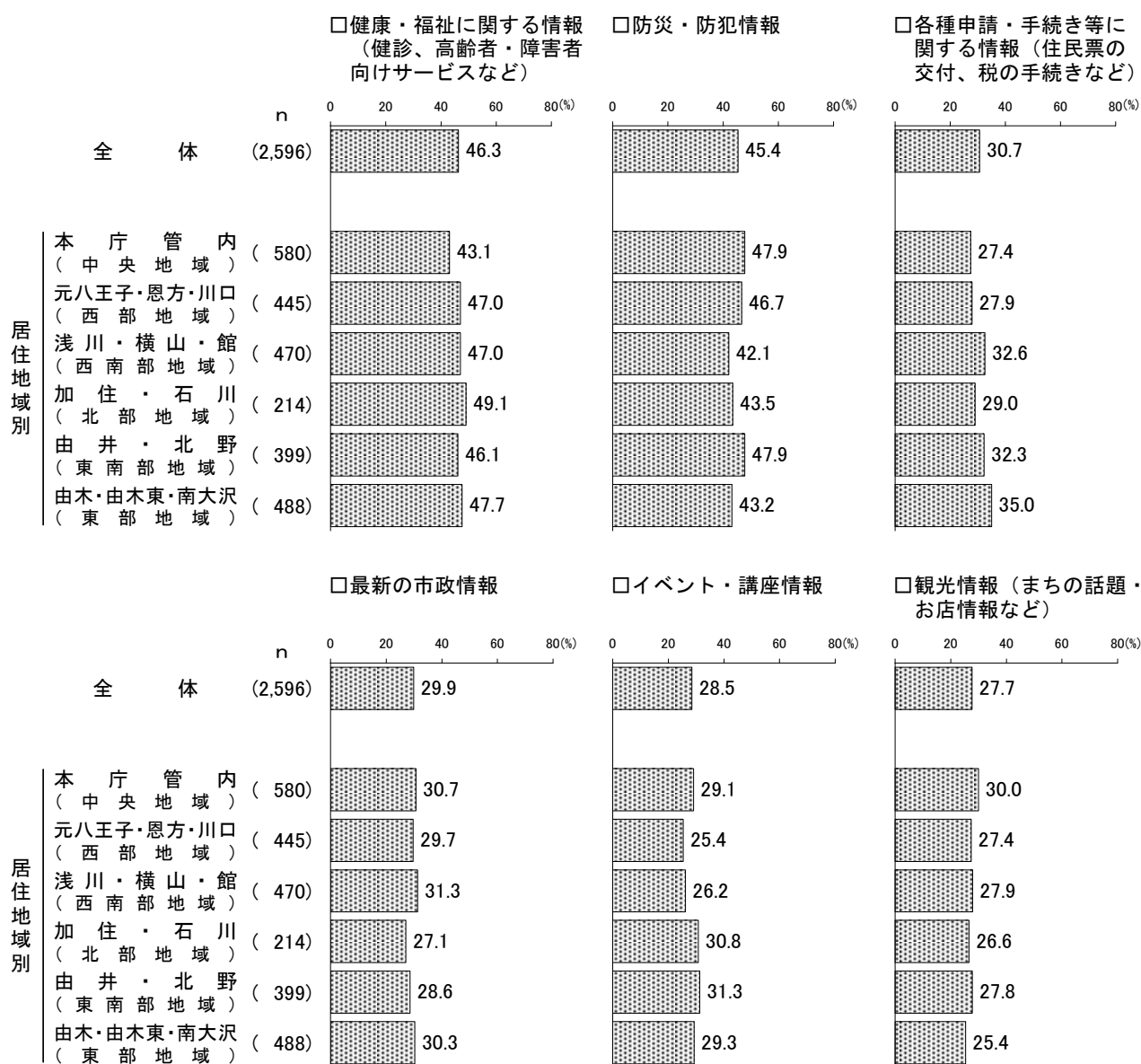
図2-3-2 関心のある情報や発信してほしい情報－性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「最新の市政情報」は男性（36.0%）が女性（25.4%）より10.6ポイント高くなっている。一方、「イベント・講座情報」は女性（31.9%）が男性（24.3%）より7.6ポイント、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は女性（48.4%）が男性（43.8%）より4.6ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（65.4%）で6割台半ばと多くなっている。「防災・防犯情報」は40～49歳（50.1%）で約5割と多くなっている。「イベント・講座情報」は40～49歳（36.2%）で4割近くと多くなっている。（図2-3-2）

図2-3-3 関心のある情報や発信してほしい情報－居住地域別（上位6位）



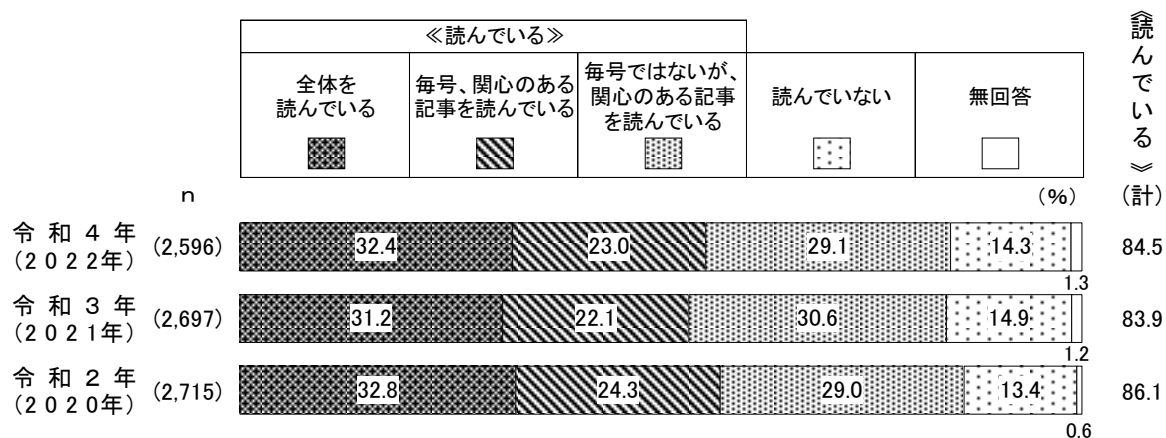
居住地域別にみると、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は加住・石川(北部地域) (49.1%) で5割弱と多くなっている。「各種申請・手続き等に関する情報（住民票の交付、税の手続きなど）」は由木・由木東・南大沢(東部地域) (35.0%) で3割台半ばと多くなっている。(図2-3-3)

(4)「広報はちおうじ」の利用状況

◇《読んでいます》が8割台半ば

問12 あなたは、「広報はちおうじ」を読んでいますか。(○は1つだけ)

図2-4-1 「広報はちおうじ」の利用状況—全体、経年比較

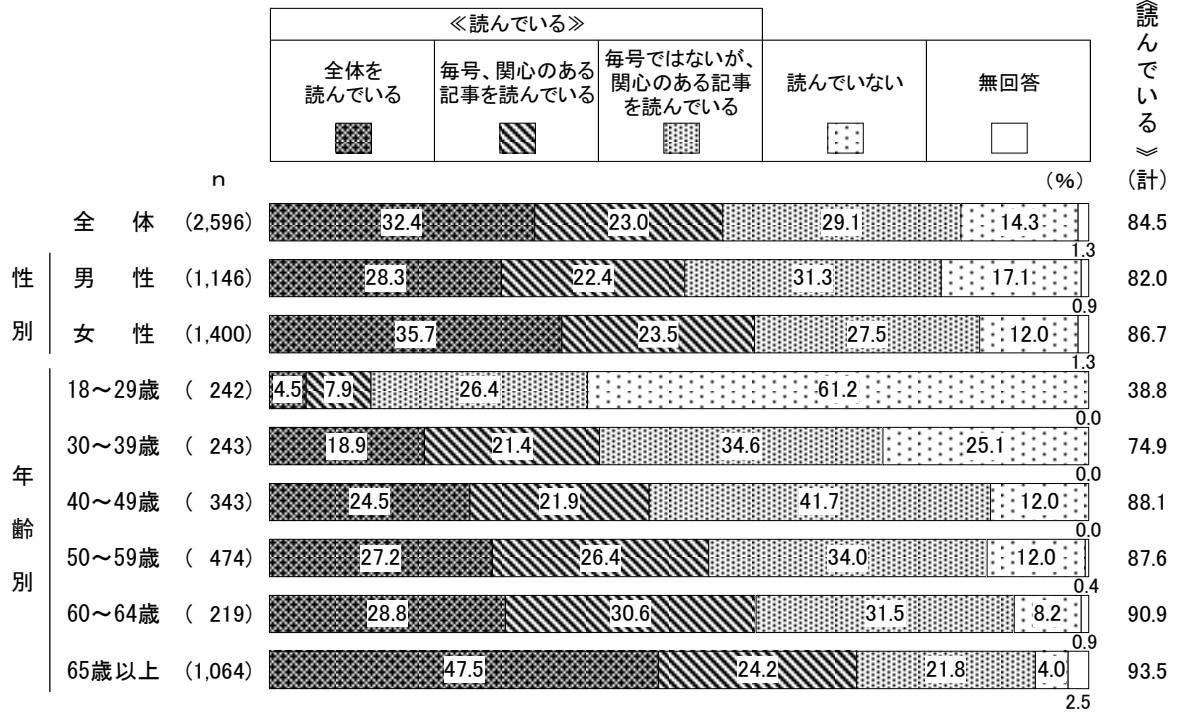


「広報はちおうじ」を読んでいるか聞いたところ、「全体を読んでいる」(32.4%)、「毎号、関心のある記事を読んでいる」(23.0%)、「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」(29.1%)の3つを合わせた《読んでいます》(84.5%)は8割台半ばとなっている。一方、「読んでいない」(14.3%)は1割台半ばとなっている。

前回までの調査と比較すると、令和3年(2021年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-4-1)

図2-4-2 「広報はちおうじ」の利用状況—性別、年齢別

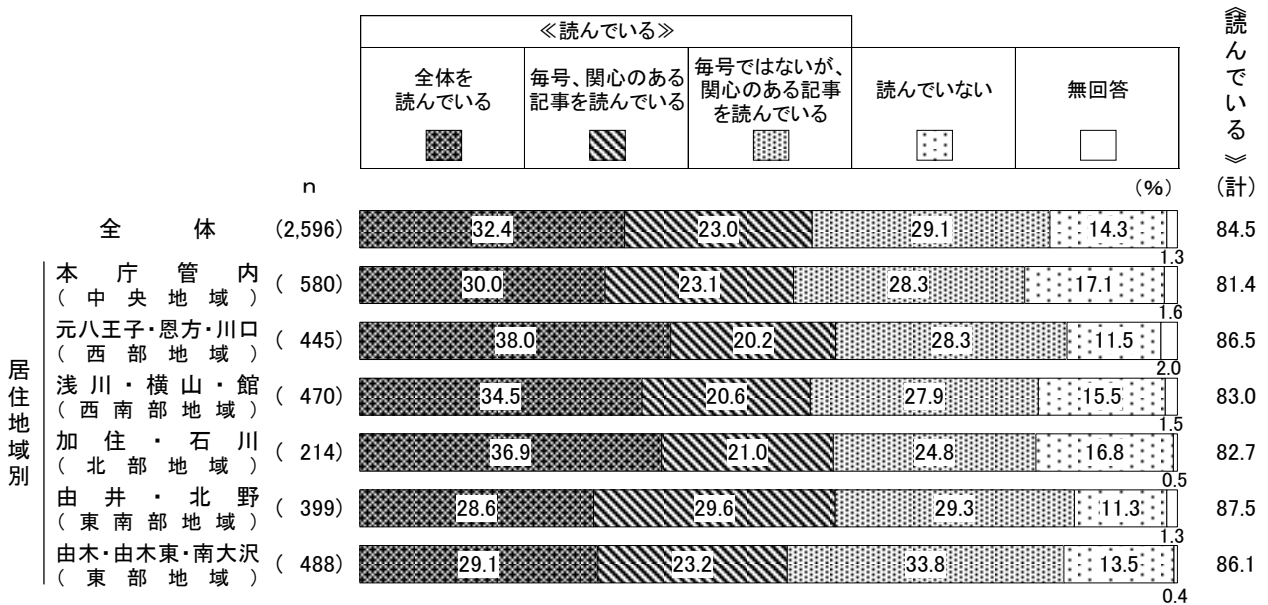


性別にみると、《読んでいる》は女性（86.7%）が男性（82.0%）より4.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《読んでいる》は65歳以上（93.5%）で9割強と多くなっている。

(図2-4-2)

図2-4-3 「広報はちおうじ」の利用状況—居住地域別



居住地域別にみると、《読んでいる》は全ての居住地域で8割台と多くなっている。

(図2-4-3)

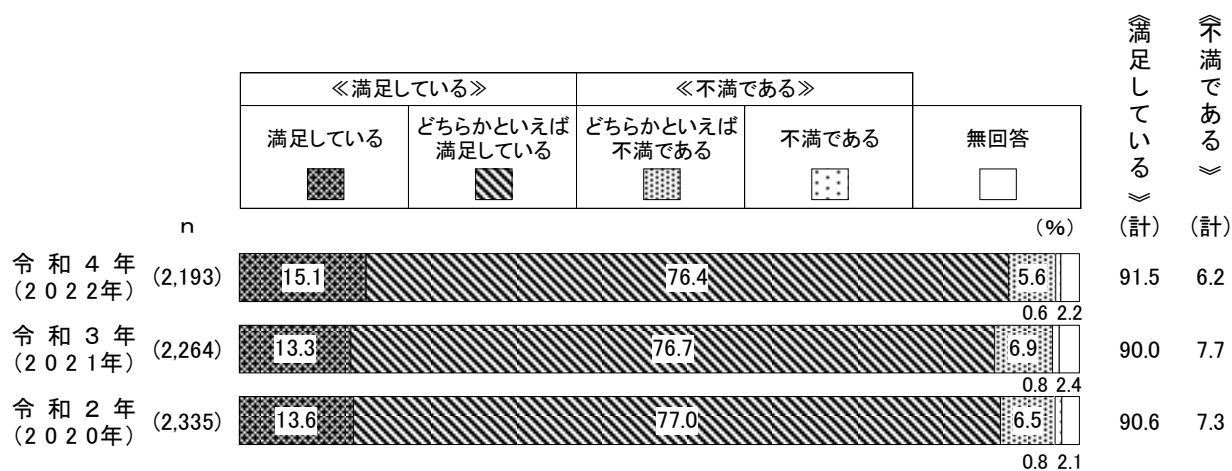
(5) 「広報はちおうじ」の満足度

◇《満足している》が9割強

(問12で「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」とお答えの方へ)

問12-1 「広報はちおうじ」について、感想をお選びください。(○は1つだけ)

図2-5-1 「広報はちおうじ」の満足度—全体、経年比較

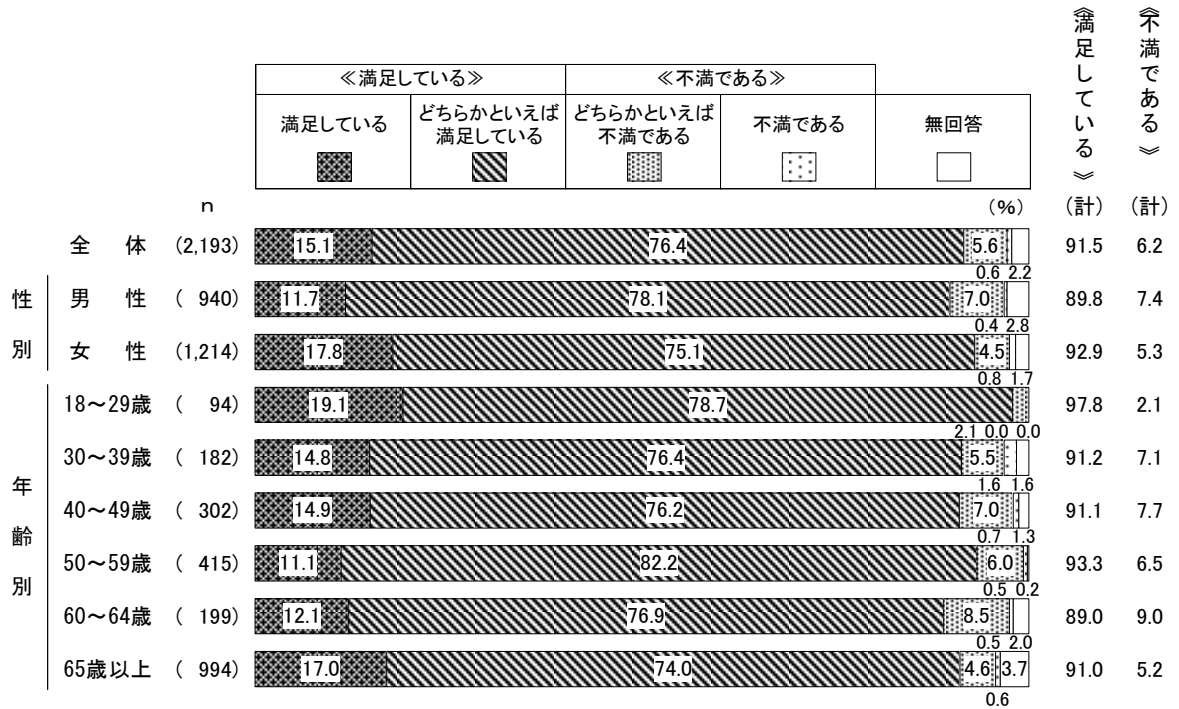


「広報はちおうじ」の利用状況で、「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」と回答した2,193人に、その感想を聞いたところ、「満足している」(15.1%)と「どちらかといえば満足している」(76.4%)を合わせた《満足している》(91.5%)は9割強となっている。一方、「どちらかといえば不満である」(5.6%)と「不満である」(0.6%)を合わせた《不満である》(6.2%)は1割未満となっている。

前回までの調査と比較すると、令和3年(2021年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-5-1)

図2-5-2 「広報はちおうじ」の満足度—性別、年齢別

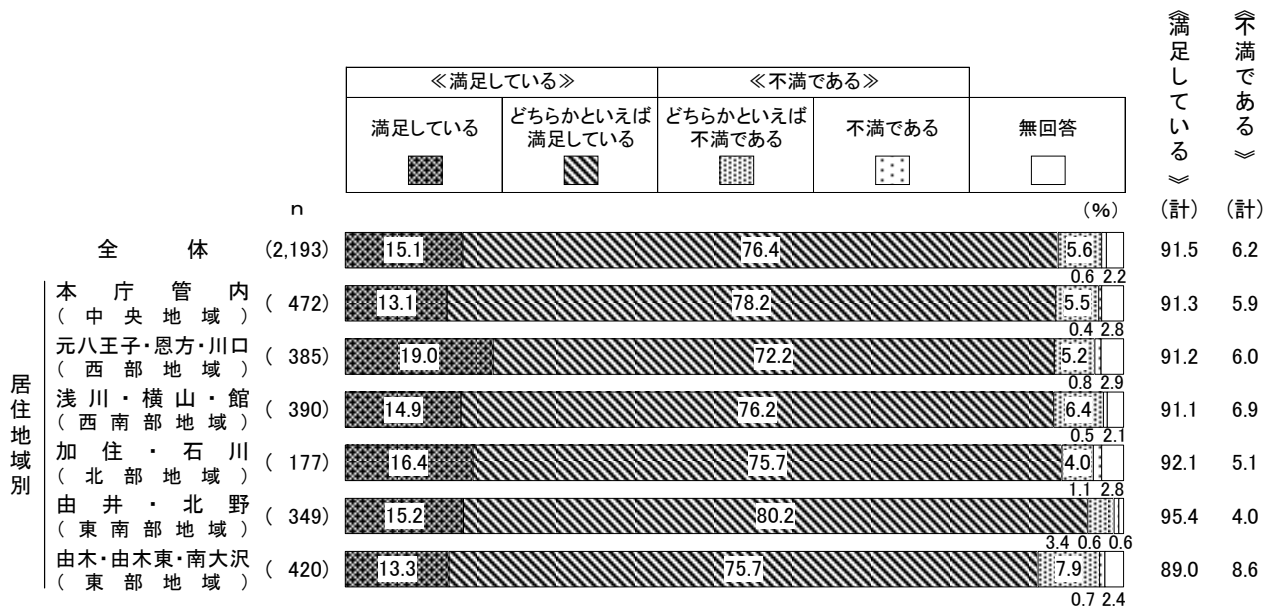


性別にみると、《満足している》は女性（92.9%）が男性（89.8%）より3.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《満足している》は18～29歳（97.8%）で10割近くと多くなっている。

(図2-5-2)

図2-5-3 「広報はちおうじ」の満足度—居住地域別



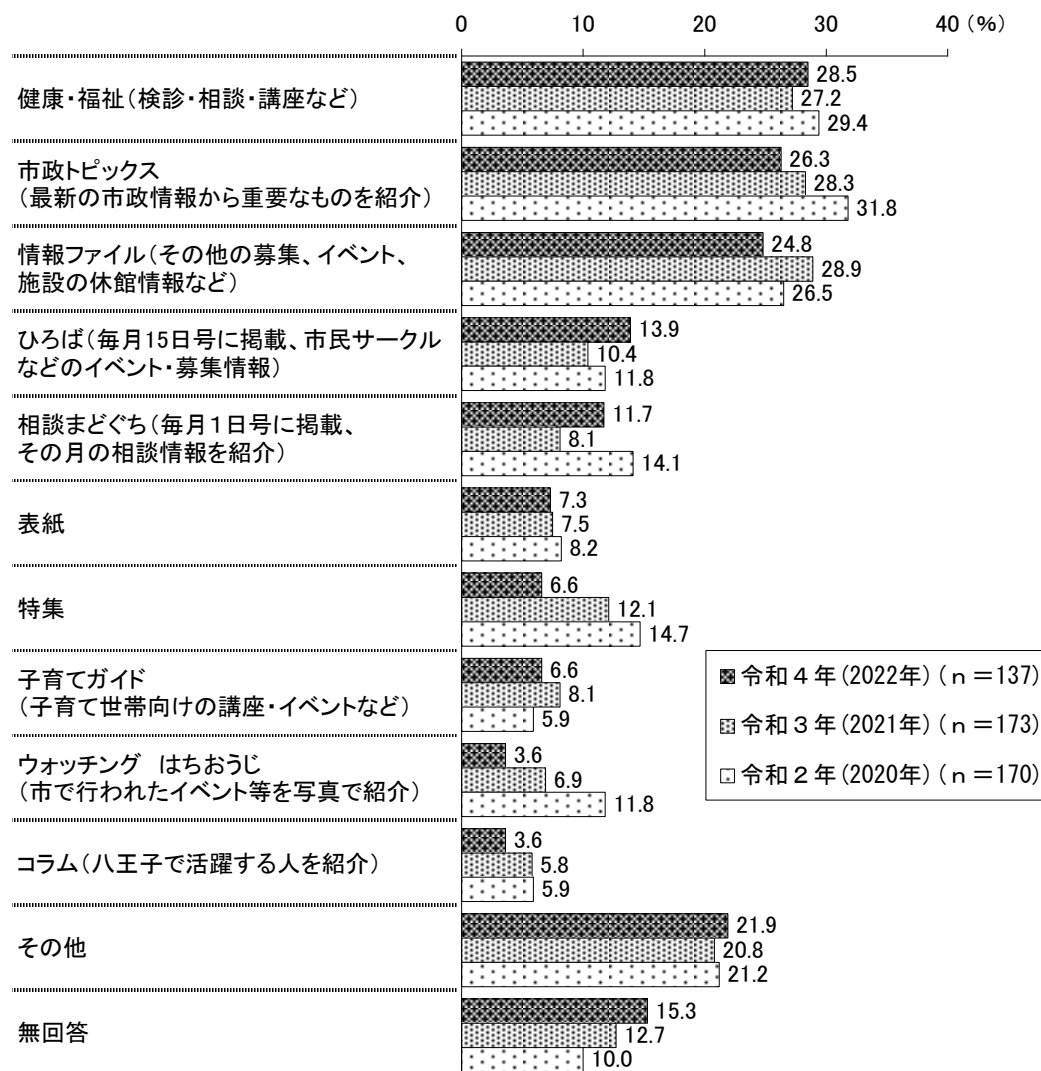
居住地域別にみると、《満足している》は由井・北野（東南部地域）（95.4%）で9割台半ばと多くなっている。(図2-5-3)

(6) 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー

◇「健康・福祉」と「市政トピックス」がともに3割近く

(問12-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方へ)
問12-1-1 不満であると特に感じるコーナーを教えてください。(〇は3つまで)

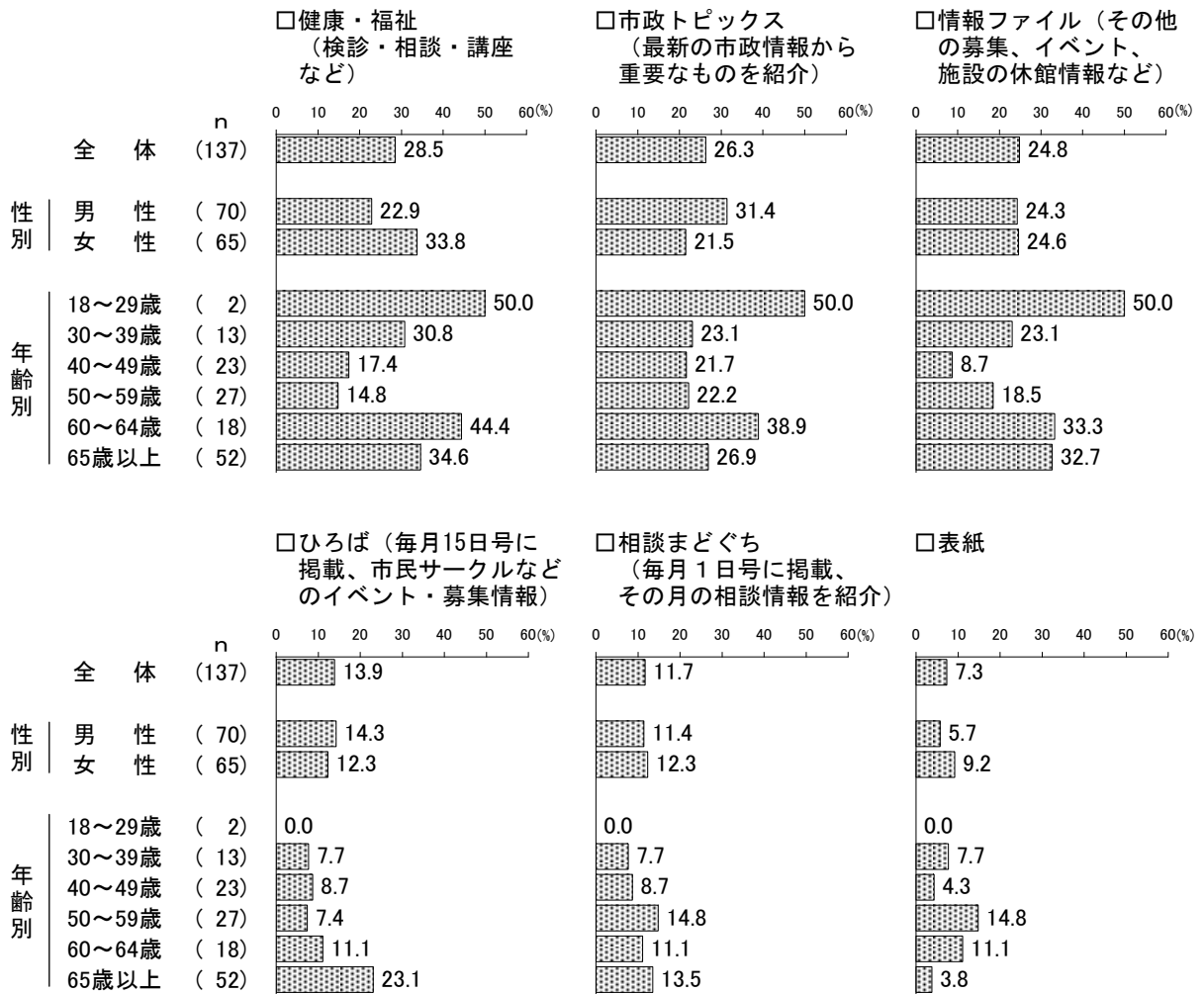
図2-6-1 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—全体、経年比較



「広報はちおうじ」についての感想で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した137人に、特に不満を感じるコーナーを聞いたところ、「健康・福祉（検診・相談・講座など）」（28.5%）と「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」（26.3%）がともに3割近くで多くなっている。次いで「情報ファイル（その他の募集、イベント、施設の休館情報など）」（24.8%）などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「相談まどぐち（毎月1日号に掲載、その月の相談情報を紹介）」は令和3年（2021年）（8.1%）より3.6ポイント増加している。一方、「特集」は令和3年（2021年）（12.1%）より5.5ポイント減少している。（図2-6-1）

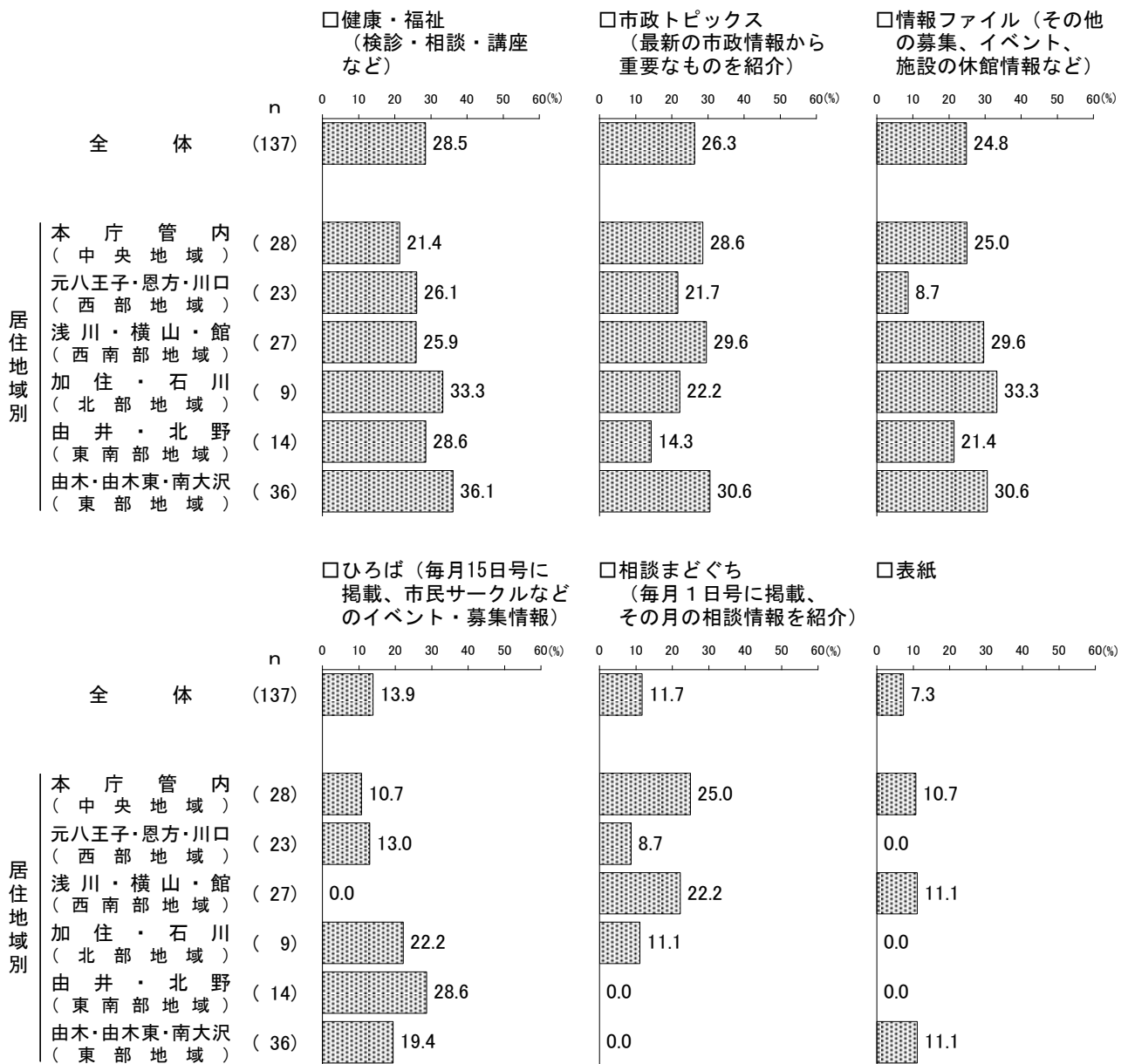
図 2-6-2 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー・性別、年齢別（上位 6 位）



性別にみると、「健康・福祉（検診・相談・講座など）」は女性（33.8%）が男性（22.9%）より10.9ポイント高くなっている。一方、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」は男性（31.4%）が女性（21.5%）より9.9ポイント高くなっている。

年齢別は基数が少ないため参考に図示する。（図 2-6-2）

図 2-6-3 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—居住地域別（上位6位）



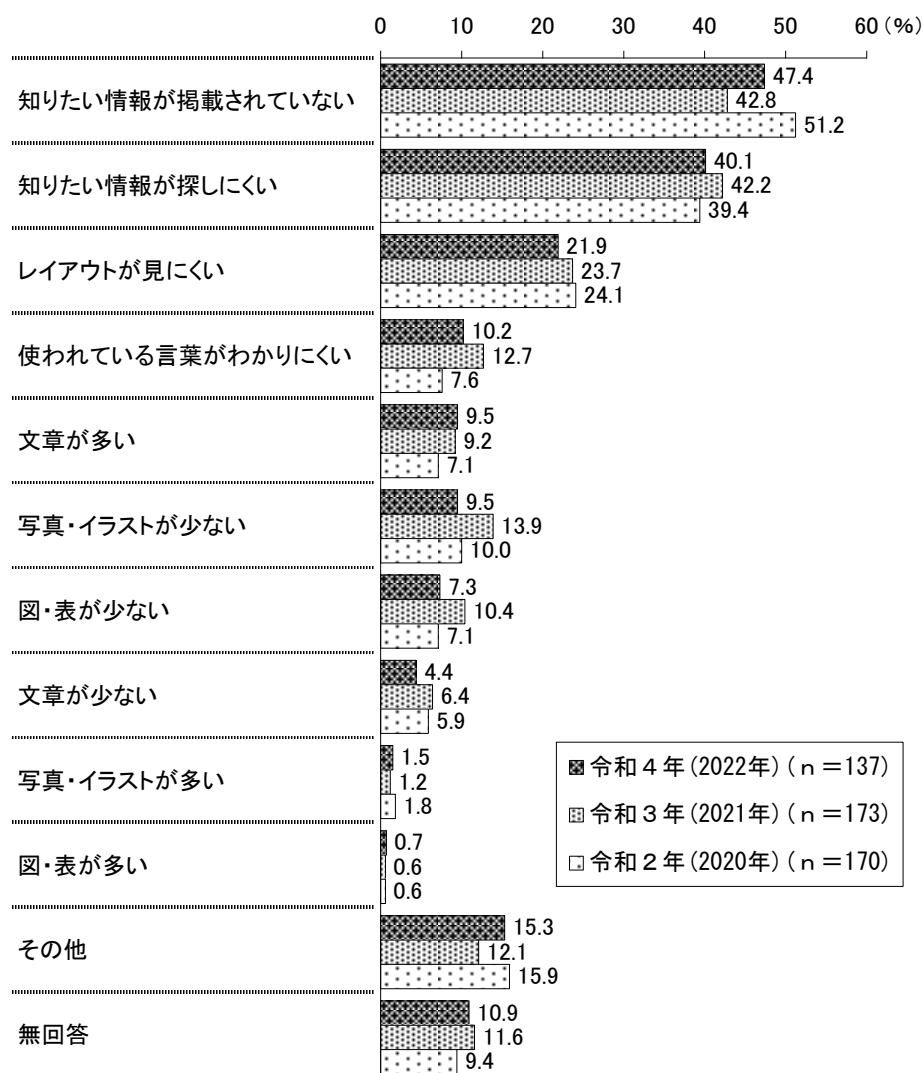
居住地域別は基数が少ないため参考に図示する。(図 2-6-3)

(7) 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由

◇「知りたい情報が掲載されていない」が5割近く

(問12-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方へ)
問12-1-2 不満であると感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

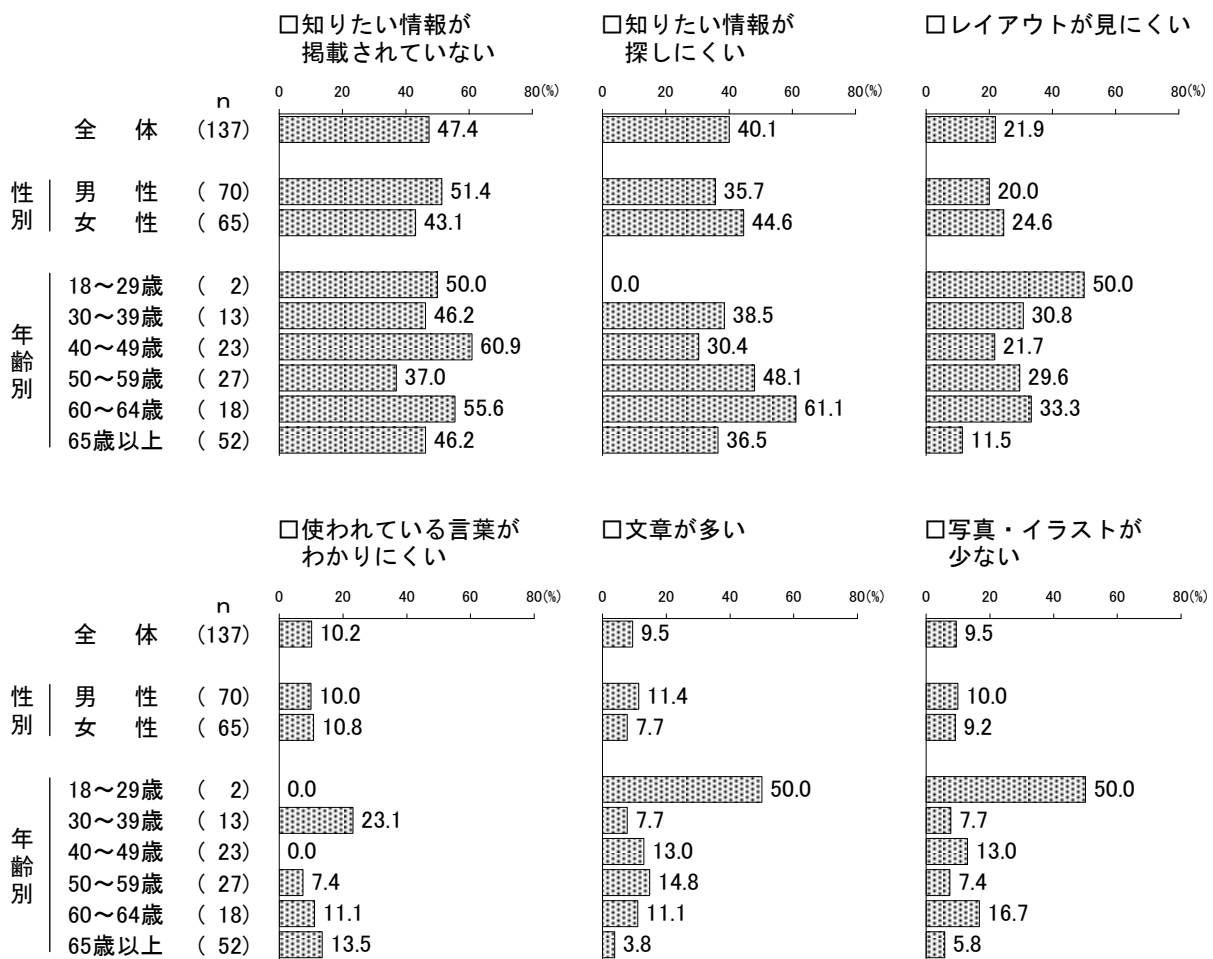
図2-7-1 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—全体、経年比較



「広報はちおうじ」についての感想で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した137人に、不満であると感じる理由を聞いたところ、「知りたい情報が掲載されていない」(47.4%)が5割近くで最も多くなっている。次いで「知りたい情報が探しにくい」(40.1%)、「レイアウトが見にくい」(21.9%)、「使われている言葉がわかりにくい」(10.2%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「知りたい情報が掲載されていない」は令和3年(2021年)(42.8%)より4.6ポイント増加している。一方、「写真・イラストが少ない」は令和3年(2021年)(13.9%)より4.4ポイント減少している。(図2-7-1)

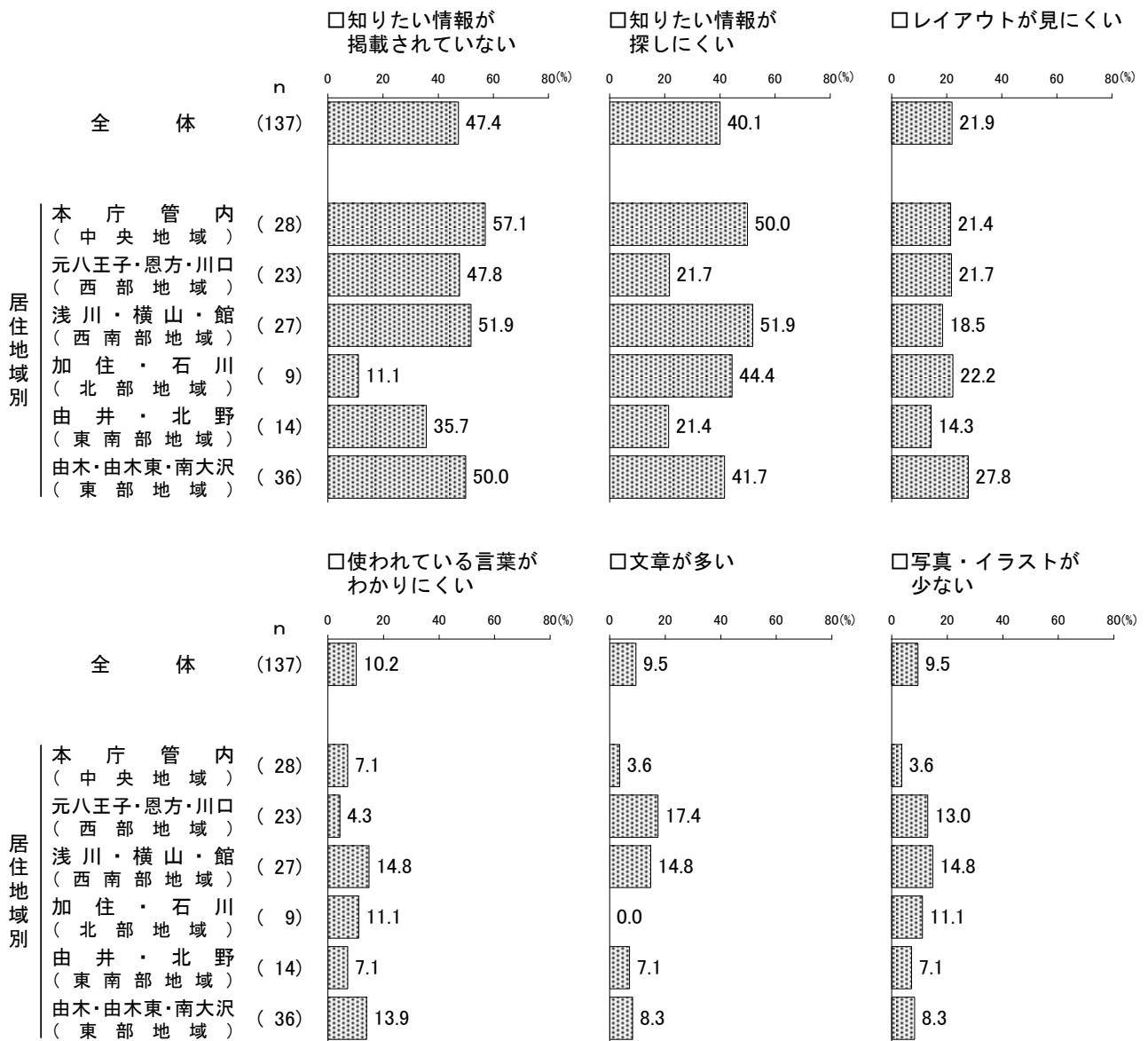
図2-7-2 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「知りたい情報が探しにくい」は女性（44.6%）が男性（35.7%）より8.9ポイント、「レイアウトが見にくい」は女性（24.6%）が男性（20.0%）より4.6ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「知りたい情報が掲載されていない」は男性（51.4%）が女性（43.1%）より8.3ポイント高くなっている。

年齢別は基数が少ないため参考に図示する。（図2-7-2）

図2-7-3 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—居住地域別（上位6位）



居住地域別は基数が少ないため参考に図示する。(図2-7-3)

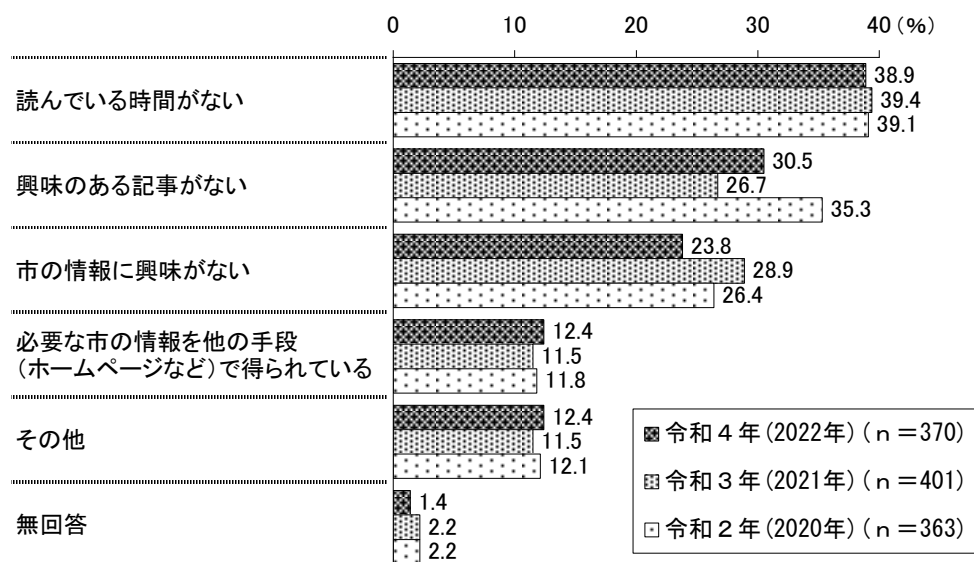
(8) 「広報はちおうじ」を読んでいない理由

◇「読んでいる時間がない」が4割近く

(問12で「読んでいない」とお答えの方へ)

問12-2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

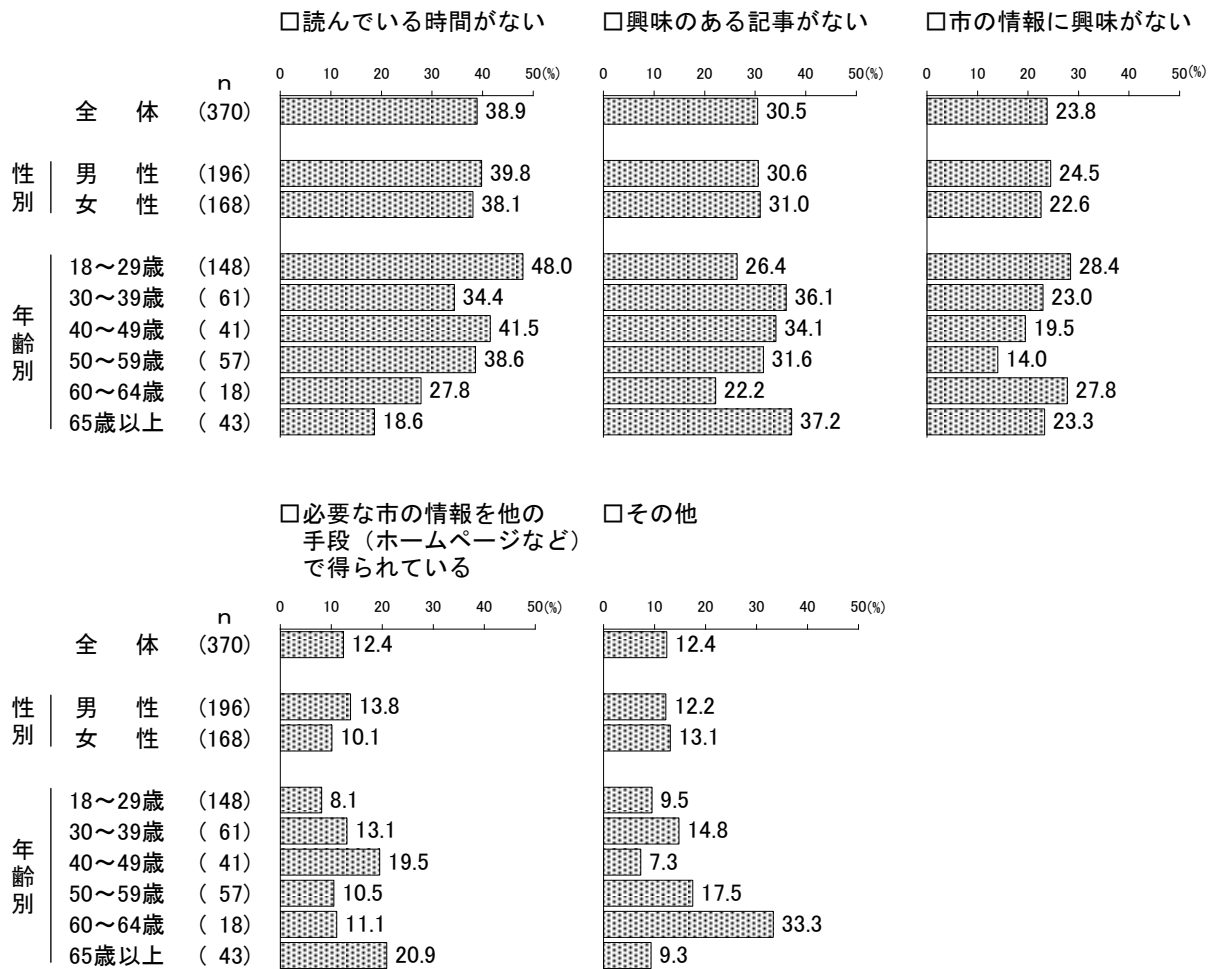
図2-8-1 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—全体、経年比較



「広報はちおうじ」を「読んでいない」と回答した370人に、読んでいない理由を聞いたところ、「読んでいる時間がない」(38.9%)が4割近くで最も多くなっている。次いで「興味のある記事がない」(30.5%)、「市の情報に興味がない」(23.8%)、「必要な市の情報を他の手段(ホームページなど)で得られている」(12.4%)の順となっている。

前回までの調査と比較すると、「興味のある記事がない」は令和3年(2021年)(26.7%)より3.8ポイント増加している。一方、「市の情報に興味がない」は令和3年(2021年)(28.9%)より5.1ポイント減少している。(図2-8-1)

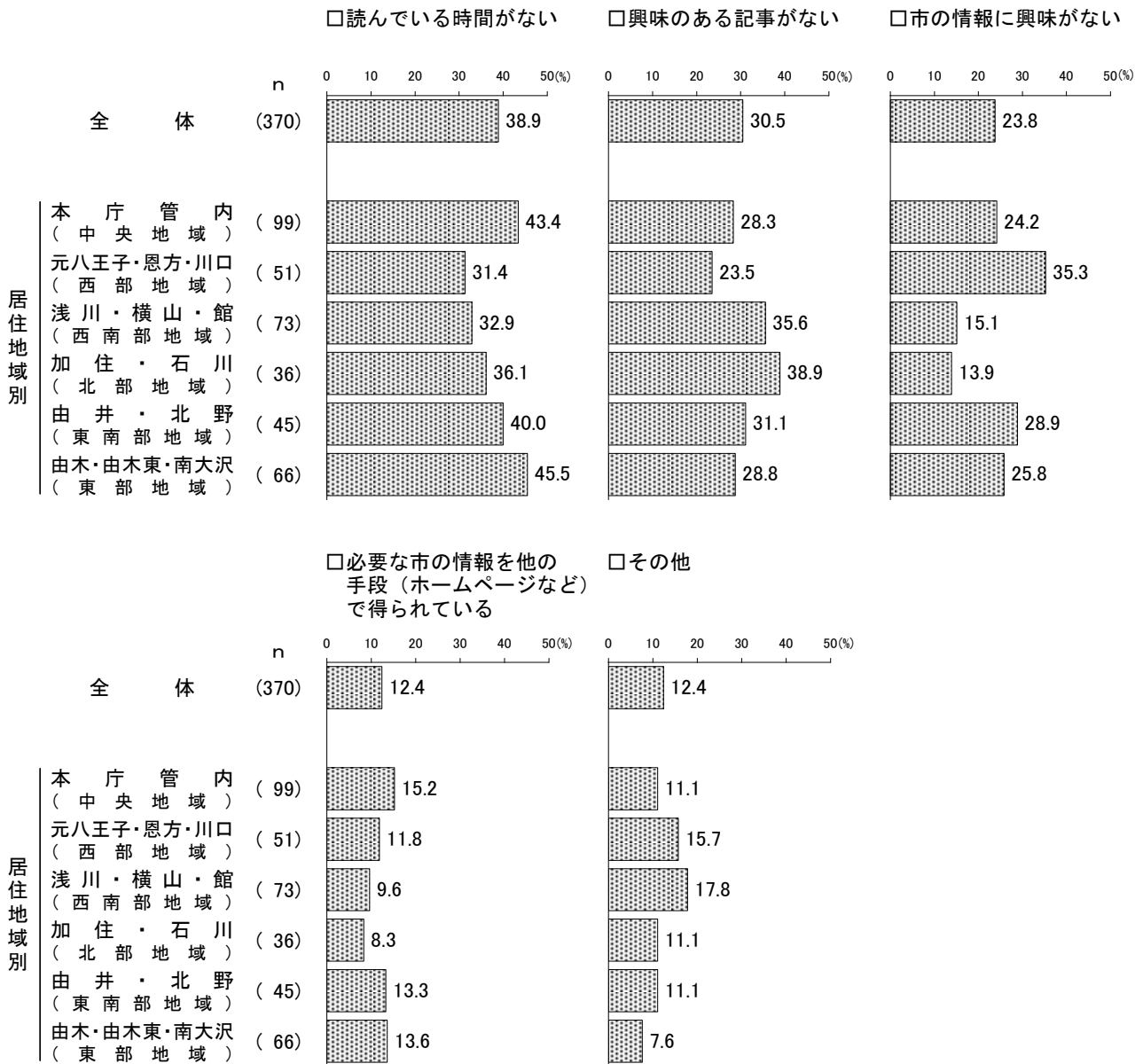
図 2-8-2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—性別、年齢別



性別にみると、「必要な市の情報を他の手段（ホームページなど）で得られている」は男性（13.8%）が女性（10.1%）より3.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「読んでいない時間がない」は18～29歳（48.0%）で5割近くと多くなっている。「興味のある記事がない」は30～39歳（36.1%）と65歳以上（37.2%）で4割近くと多くなっている。（図2-8-2）

図 2-8-3 「広報はちおうじ」を読んでいる理由—居住地域別



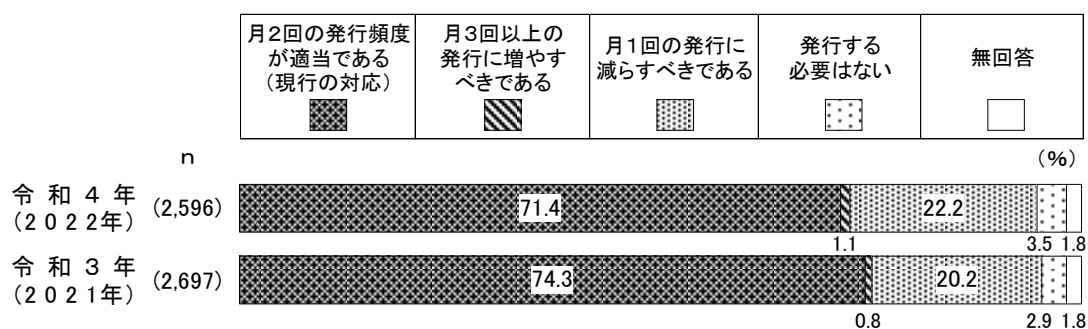
居住地域別にみると、「読んでいる時間がない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（45.5%）で4割台半ばと多くなっている。「興味のある記事がない」は加住・石川（北部地域）（38.9%）で4割近くと多くなっている。「市の情報に興味がない」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（35.3%）で3割台半ばと多くなっている。（図 2-8-3）

(9) 「広報はちおうじ」の発行頻度

◇「月2回の発行頻度が適当である（現行の対応）」が7割強

問13 現在、「広報はちおうじ」を月2回発行していますが、その頻度についてどのようにお考えですか。（○は1つだけ）

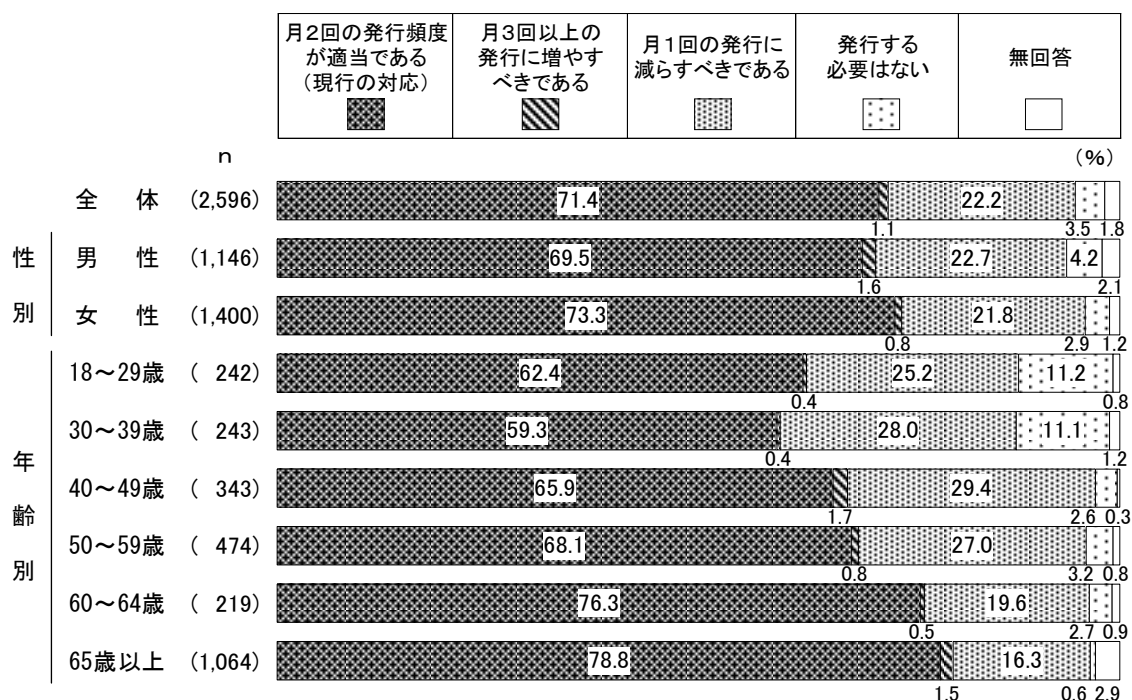
図2-9-1 「広報はちおうじ」の発行頻度－全体、経年比較



「広報はちおうじ」の発行頻度について聞いたところ、「月2回の発行頻度が適当である（現行の対応）」（71.4%）が7割強で最も多くなっている。次いで「月1回の発行に減らすべきである」（22.2%）、「発行する必要はない」（3.5%）、「月3回以上の発行に増やすべきである」（1.1%）の順となっている。

前回の調査と比較すると、「月1回の発行に減らすべきである」は令和3年（2021年）（20.2%）より2.0ポイント増加している。一方、「月2回の発行頻度が適当である（現行の対応）」は令和3年（2021年）（74.3%）より2.9ポイント減少している。（図2-9-1）

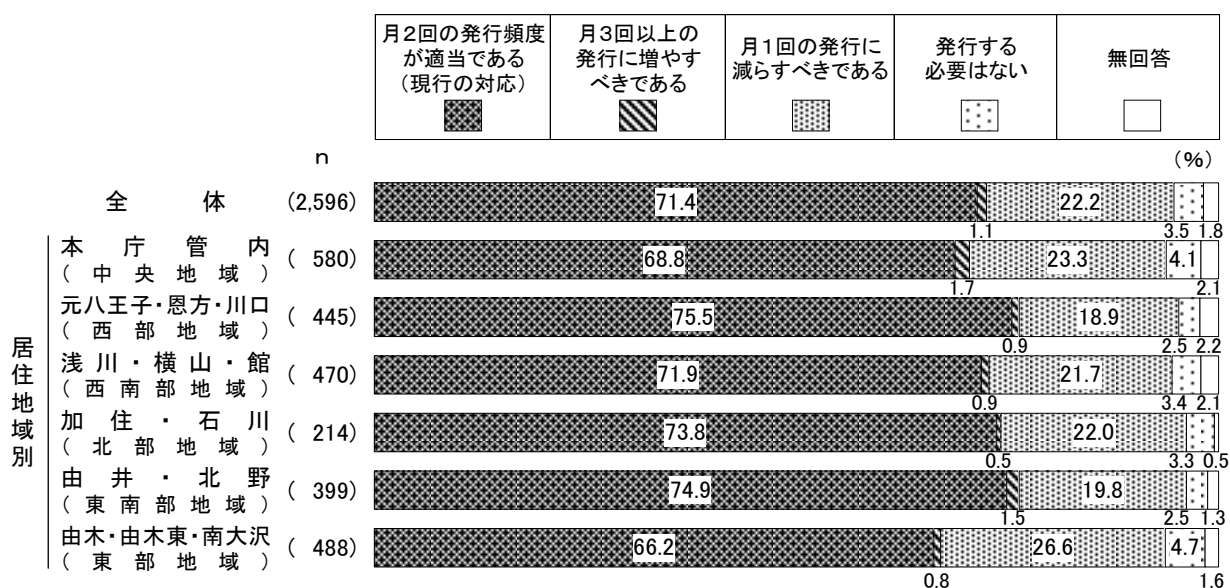
図2-9-2 「広報はちおうじ」の発行頻度－性別、年齢別



性別にみると、「月2回の発行頻度が適当である（現行の対応）」は女性（73.3%）が男性（69.5%）より3.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると「月2回の発行頻度が適当である（現行の対応）」は60～64歳（76.3%）と65歳以上（78.8%）で8割近くと多くなっている。「月1回の発行に減らすべきである」は40～49歳（29.4%）で3割弱と多くなっている。（図2-9-2）

図2-9-3 「広報はちおうじ」の発行頻度－居住地域別



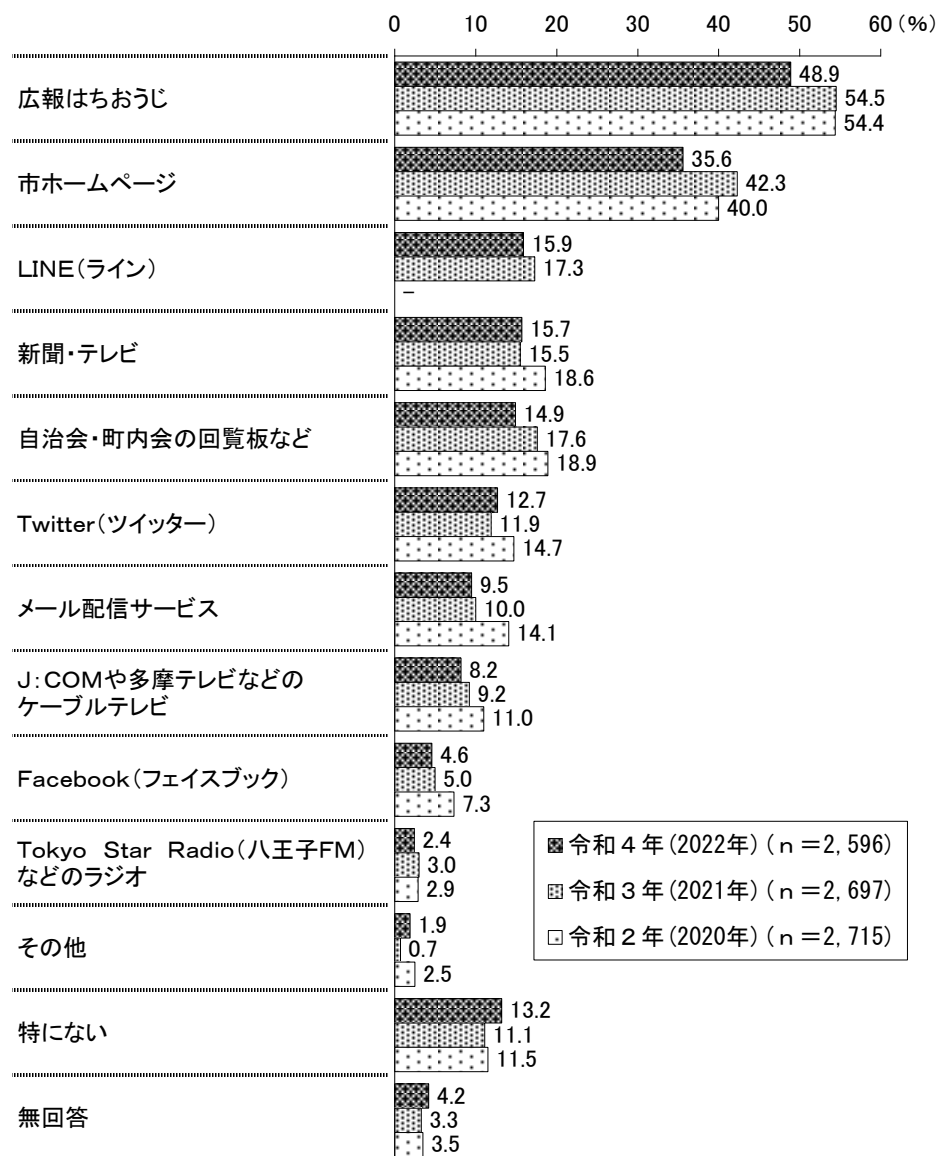
居住地域別にみると、「月2回の発行頻度が適当である（現行の対応）」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（75.5%）と由井・北野（東南部地域）（74.9%）で7割台半ばと多くなっている。（図2-9-3）

(10) 今後充実させた方が良い広報媒体

◇「広報はちおうじ」が5割近く

問14 今後、市が情報を発信する上で、さらに充実させた方が良いと思うもの、または、積極的に活用した方が良いと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

図2-10-1 今後充実させた方が良い広報媒体－全体、経年比較

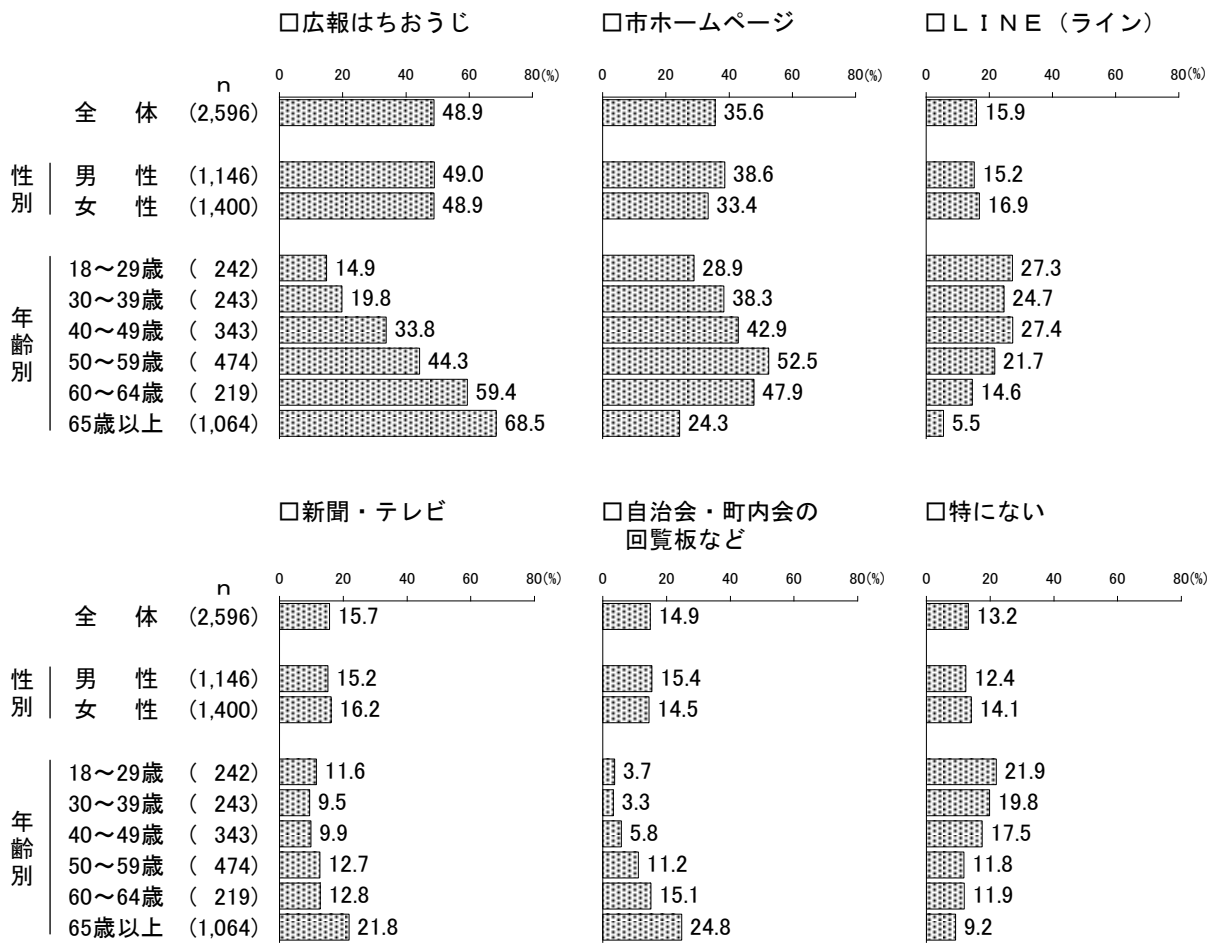


(注)「LINE(ライン)」は、令和3年(2021年)から追加された選択肢。

今後充実させた方が良いと思う広報媒体を聞いたところ、「広報はちおうじ」(48.9%)が5割近くで最も多くなっている。次いで「市ホームページ」(35.6%)、「LINE(ライン)」(15.9%)、「新聞・テレビ」(15.7%)、「自治会・町内会の回覧板など」(14.9%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「市ホームページ」は令和3年(2021年)(42.3%)より6.7ポイント、「広報はちおうじ」は令和3年(2021年)(54.5%)より5.6ポイント、それぞれ減少している。(図2-10-1)

図2-10-2 今後充実させた方が良い広報媒体－性別、年齢別（上位5位＋「特にない」）

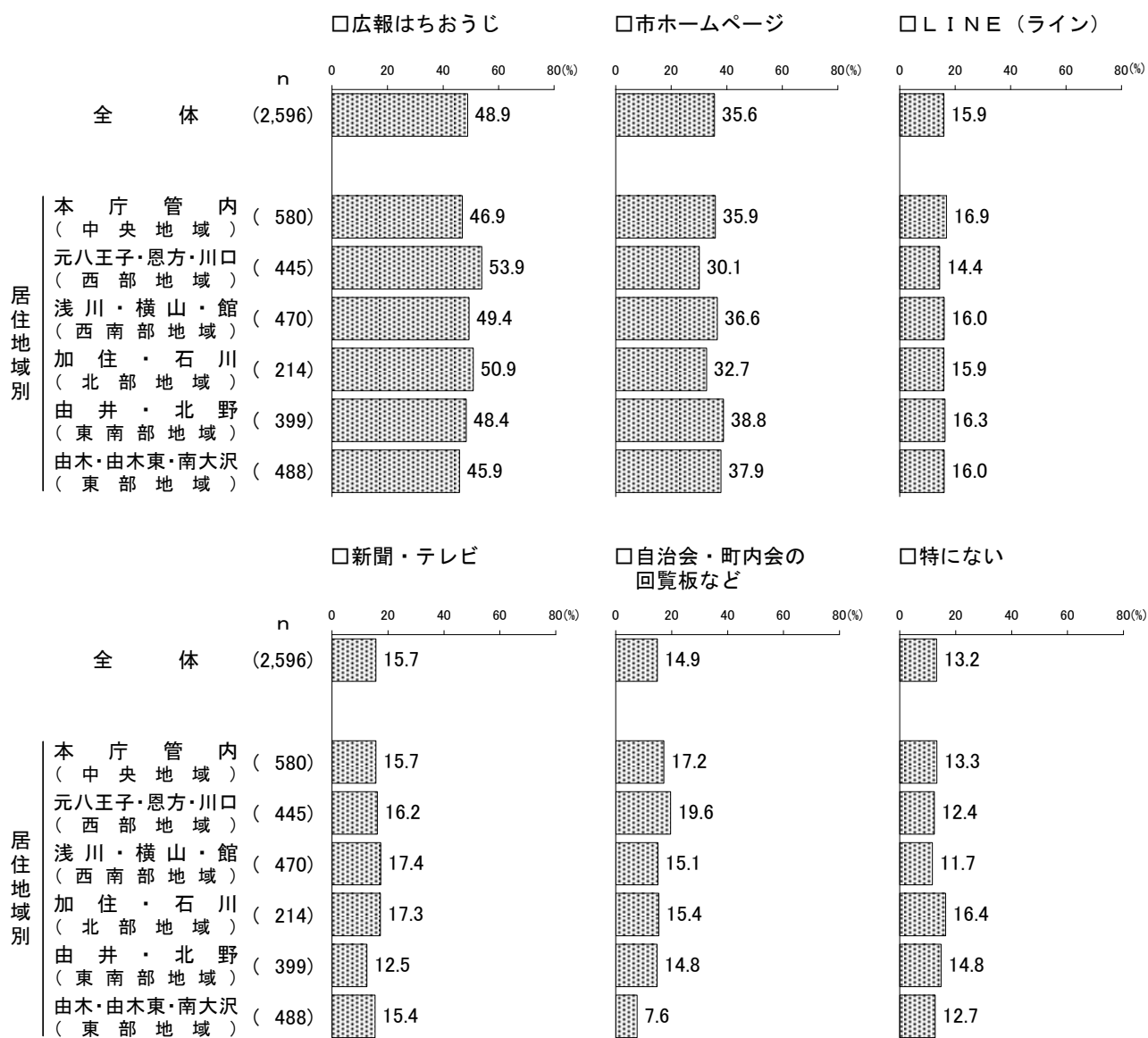


性別にみると、「市ホームページ」は男性（38.6%）が女性（33.4%）より5.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（68.5%）で7割近くと多くなっている。「市ホームページ」は50～59歳（52.5%）で5割強と多くなっている。「LINE（ライン）」は18～29歳（27.3%）と40～49歳（27.4%）で3割近くと多くなっている。

（図2-10-2）

図2-10-3 今後充実させた方が良い広報媒体－居住地域別（上位5位＋「特にない」）



居住地域別にみると、「広報はちおうじ」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（53.9%）で5割強と多くなっている。「市ホームページ」は由井・北野（東南部地域）（38.8%）、由木・由木東・南大沢（東部地域）（37.9%）、浅川・横山・館（西南部地域）（36.6%）で4割近くと多くなっている。（図2-10-3）

(11) 市の情報発信に関する意見（自由意見）

問15 市からの情報発信について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記述)

市の情報発信に関する意見を自由記述形式で聞いたところ、242人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがあ

- J : COMやケーブルテレビなどでは、最新情報（今ではコロナの感染者やワクチン情報）などをもっと発信したほうが良いと思います。(女性18～29歳)
- 買い物で使えるクーポン（プレミアム商品券など）があれば、駅などにポスターを貼るなどして広報してほしい。(男性18～29歳)
- 定期的に広報はちおうじにT w i t t e r、F a c e b o o k、L I N Eのアドレス、登録方法を載せてほしい。(女性30～39歳)
- ペーパーレス時代ではありますが、広報はちおうじは、やはり紙ベースのものの方が目を通しやすい。最近L I N E登録をしたので今後はこちらでもチェックしていきたいです。(女性40～49歳)
- 広報はちおうじは大変ありがたく、嬉しい読み物ではありますが、紙媒体であるのは今の時代に合わないし（SDGs）、「全世帯に」と考えると、やはり古いやり方な気がします。「数量限定のフリーペーパーにする」や「申し込み者へのみ郵送」が妥当。(女性40～49歳)
- L I N Eなどで発信してくれることでペーパーレスになるといいと思う。(女性40～49歳)
- ホームページに地区ごとの情報があると出かけてみたいと思える。また、地域復興ポイントをまたお願いしたいです。(アプリ良かったです)(女性40～49歳)
- 若い世代にはインターネットやSNSだと思う。(男性40～49歳)
- 高齢者や情報弱者、子供等、ネット環境が整っていない層への届け方について御一考ください。「詳細はHPで」では置いていかれる人もいます。(女性50～59歳)
- 広報はちおうじの救急診療・休日診療の欄を、慌てていてもパッと目や頭に入ってくるように、色やスッキリしたレイアウトに変えてほしい。現状のものは、視線が上滑りして緊急時に理解しにくい。(女性50～59歳)
- 広報はちおうじを、月1回で内容を厚くしてほしい。市のホームページを見ても必要な情報が不十分だといつも感じる。(女性50～59歳)
- 自治会や町内会の回覧板を廃止して欲しい。掲示板やメール配信などを活用する方向に変えて欲しい。(女性50～59歳)
- 市ホームページの更新頻度をあげてほしい。(男性50～59歳)
- ホームページの項目をもっと見つけやすいようにデザインし直してほしい。(男性50～59歳)
- 災害時のインフラとしての機能を意識した媒体を使用すべきかと感じます。(男性50～59歳)
- 情報の即時性の高いWeb発信にシフトしつつ、ITリテラシーが不足している高齢者には情報を厳選して平易で文字の大きい紙媒体での発信で補うのがよいと思う。(男性50～59歳)
- 防災・防犯・健康など、市民の多くの人に関するものは、できるだけわかりやすく発信してほしい。コロナ予防接種などの案内は、最初からみるとかなりわかりやすくなったと感じる。
(女性65歳以上)
- 防災無線情報（拡声放送）の内容が聞き取れなかったり、聞きづらいことがあります。
(男性65歳以上)